



MIKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

vol.
77



三木市国際交流協会

<https://www.city.miki.lg.jp/soshiki/15/>



2022.12

三木市姉妹都市提携周年事業

三木市は、アメリカ・カリフォルニア州バイセリア市、そしてオーストラリア・ニューサウスウェールズ州フェデレーション市と姉妹都市提携を結んでいます。協会は三木市からの委託を受け、バイセリア市との姉妹都市提携55周年、フェデレーション市との姉妹都市提携25周年を記念した事業を実施しました。

写真展

2022/7月 三木市役所・多世代交流スペース（旧吉川町庁舎）・青山公民館

提携から現在に至るまでの交流の様子を撮影した約50枚のパネル写真と共に市長メッセージ、年表、各市の概要等を展示しました。長年の交流の軌跡を振り返るとともに、多くの人々に姉妹都市交流について理解を深めていただく良い機会となりました。



座談会

2022/7/17・24 吉川町公民館・青山公民館

訪問団として姉妹都市を訪問した人々やホストファミリーとして訪問団を受け入れた人々が、それぞれの立場から体験談を発表しました。スライドを交えながら初の海外旅行で驚いたことや、受け入れをして感じたことなどを語り、国際交流や相互理解の意義を伝えました。



オンライン交流会

2022/8/26 三木市役所

両市をオンラインでつなぎ、互いの人々が交流しました。両市長からの挨拶の後、生徒達が英語で落語を披露したり三木市の紹介をしたりしました。またフェデレーション市の参加者も日本語を交えながら自身やフェデレーション市の紹介をしました。参加者からは「コロナ禍で訪問できない中、オンライン交流ができて楽しかった」「緊張したけれど頑張って発表できて良かった」との感想がよせられました。

12月末までYouTubeで配信しています。



フェデレーション市の活動に協力して

2022/10/7-10/13

フェデレーション市が四半世紀にわたる両市の交流の歴史を振り返るドキュメンタリー映画の制作に着手しました。

ヘレン ニューマン監督と通訳のタラナ レーンさんが訪れ、過去に関わった方々のインタビューと初来日の監督の目に映る日本らしい各地の様子を動画に収めました。

快くインタビューに応じる関係者の様子を見て、彼らの尽力と寄与の成果であると再認識すると同時に今後の交流に期待を抱くことができました。



世界の国の

ありがとう



②ミャンマー語

監修

ウエウエターさん



ミャンマー語

チエーズティンバーデー

ကျေးဇူးတင်ပါတယ်



**発表者：中尾 プラパツソン さん（タイ出身）、ラニーム バダウィ さん（シリア出身）、
レティラン フォンさん（ベトナム出身）、ブラヨ レオニダ さん（フィリピン出身）**

今年で5回目となるこのイベントは、コロナ禍で規模を縮小した過去2年とは異なり、参加者が4か国のブースを巡り、顔の見える距離で外国にルーツがある方々と交流をするというものでした。共催した小野高校ビジネス探求科外国人支援班の生徒が各ブースにて外国人発表者と参加者との橋渡しをするファシリテーターとして活躍しました。

4名の外国人ゲストは、展示した写真などを示しながら自国の文化や習慣を詳しく説明しました。クイズや各国の言葉で書き表したステッカーのプレゼントもあり、三木市にいながら各国を旅した気分になりました。



ぐるっとワールド In Mikiに参加して

シリアの紹介 ラニーム バダウィ さん

今回このように自国のことについて発表するために小野高校の在校生たちと準備をしたり、色々なことを企画したりし、発表できたことをとても嬉しく思っています。これからもたくさんの人にシリアのことについて知ってもらうために、今回の経験を活かして頑張ります。参加していただいた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

小野高校ビジネス探求科外国人支援班 稲田 里穂 さん

この度の共催事業において特に印象に残っていることは、イベント開催に向けて海外出身の方々と打ち合わせをしていく中で、諸外国について活字で知ることにには限度があるということです。その文化や習慣について知るためにはその国の人と実際にふれあい、話し合うことが最も重要なことだと知ることができました。また同時にその楽しさを改めて実感することができました。

参加者のアンケートより

高校生の方も頑張っていて感心しました。インターネットで海外の情報を見たりしていますが、実際にその国の人から話を聞くのは違うなと思いました。

子ども英語暗唱大会 共催 兵庫県立三木高等学校

2022/8/20 教育センター



受賞者のみなさん・中央は廣田会長

今年で7回目となる小学生による子ども英語暗唱大会は、コロナ禍により一昨年は中止、昨年は無観客でしたが、今回は人数制限があったものの、久々に観客を入れての開催となりました。小学生低学年12名、高学年10名の合計22名が6つの課題文の中から選んだストーリーを暗記し発表しました。ストーリーに合わせてジェスチャーを交えたり、イラストを使ったり、また動物の鳴きまねをする等、いろいろな工夫が見られました。2年連続で参加する小学生も多く、この大会を楽しみにしているとのこと。これからも、もっとすそ野を広げ、多くの子供たちに参加してもらいたいと思います。

審査をしていただいた守屋教諭、ALTのケビン先生、ブライアン先生、スティーブン先生、そして司会進行及び英語落語を披露してくださった三木高校の皆様、ありがとうございました。審査の結果は次の通りです。

表彰	氏名	学校・学年	受賞の感想
低学年の部 大賞	高梨 歩実	緑が丘小学校 2年	前回は大賞ではなかったけれど、頑張って練習して今回は大賞が取れて、うれしかったです。
低学年の部 国際交流協会賞	多田 蘭	豊地小学校 2年	はじめてだったので、とてもきんちょうしました。けれど、たのしかったです。それとしょうをもらえて、うれしかったです。
高学年の部 大賞	I. M.	緑が丘小学校 4年	大賞がもらえてとてもうれしいです。色々な鳥の鳴き声や仕草を調べ、自分なりに考えて表現できるように取り組みました。
高学年の部 国際交流協会賞	藤原 大暢	豊地小学校 6年	受賞できて、とてもうれしいです。相手にどう伝えるかを意識して暗唱しました。強弱やジェスチャーをつけて、相手の目を見て話すように心がけました。

第2回 国際理解講座「亡き妻と歩んだ海外駐在生活」

講師：近藤 直文 さん

2022/9/18 教育センター
参加者：19名

通算15年間の中国とインドネシア駐在中に、奥様と過ごされた思い出と彼女の目線から見たそれぞれの国の文化を紹介されました。1990年代の中国広東省広州市は自由で開放的な資本主義であったこと、インドネシアでは、奥様が現地のメイドや運転手と心を通わせ、仲良く付き合われた秘訣が印象的でした。文化習慣の異なる国に順応し、有意義に過ごすかは当人の心持次第であり、そしてその経験は、外国にルーツがある人々との関わりに活かされるのだらうと思いました。

受講者の感想

日本にいただけでは経験できない事柄を多く知ることができました。奥様と過ごされた海外生活、自分の経験できなかったこと、知らなかったことが事細かく話され、大変興味深く聞きました。



第2回 日本語ボランティア養成講座

講師：尾形 文 さん
(神戸松蔭女子学院大学非常勤講師)

2022/8/13 教育センター
参加者：19名

今回は「アクティブラーニング」というテーマで外国人学習者が主体的に学ぶ方法を教わりました。ボランティアは、説明や解説するというイメージにとらわれず、支援者として学習者の力を引き出すことの大切さを学びました。

今後も様々な背景を持つ学習者の多様なニーズに沿った支援ができるように心がけたいと思います。

受講者の感想

アクティブラーニングについての理解を深めるとともに、学習者の自立性、主体性を促すファシリテーターとしての役割を考えるボランティアの重要性について知ることができました。



日本語教室だより

防犯講習

講師：三木警察

サイバー犯罪や防犯全般について受講しました。諸外国より日本は安全な国というイメージで来日される外国人が多いようですが、サイバー犯罪なども増えている中で、防犯意識を高める良いきっかけになりました。

2022/10/17 教育センター



市役所手続きについて

講師：三木市市民協働課多文化共生係

スライドを交えながら市役所での様々な手続きについて説明を受けました。日本の保険や年金の制度は母国と大きく異なっているので、理解しづらい学習者も多いようです。日々の生活に役立つ情報ということもあり、学習者は熱心に耳を傾けていました。

2022/7/11.15 教育センター・自由が丘公民館



外国につながる子どもの居場所づくり

「にほんご de まなぼう」

2022/8/9 ~ 18(5回) 自由が丘小学校

三木高校、小野高校、そして日本語教室ボランティア、延べ38人が外国につながる子どもの宿題の手伝いをしました。参加した10人の子どもの中で、特に新中1の男子生徒は、初めての自由研究に熱心に取り組んでいました。夏休みの宿題に不安を感じている子どもに寄り添い励ます高校生の姿勢が印象に残りました。諸事情により家庭で学習支援を受けられない子どもにとってこの活動は意義深いものだとして再認識しました。

ボランティアの感想

教師を目指す上でとても良い経験になりました。楽しく時間があっという間に過ぎていきました。来年もぜひ参加させていただきたいです。



出前講座

「母国の紹介」

2022/7/14 県立三木高等学校

講師：橋田 ソルイプさん(韓国)・ブラヨ レオニダさん(フィリピン)

外国にルーツがある二人が母国について、また、現在の生活について話しました。橋田さんは、学生時代に日本に興味を持ち、留学、結婚を機に、また、レオニダさんは在日している母親との生活をきっかけに来日し、徐々に社会に馴染んでいる様子を体験談とともに語りました。生徒は、二人の話はもちろんのこと、世界遺産や歴史などにも興味を抱いたようでした。



「関西国際大学『地域ふれあい実習』」

2022/9/13 教育センター

ゲスト：アミ パッチャルワティさん(インドネシア)、レ ティ ラン ファンさん(ベトナム)、ヨシムラ タチアナ サユリさん(ブラジル)

外国にルーツがある人々の困りごとに医療機関での受診があります。保健医療学部看護学科に在籍している将来の医療従事者をを目指す学生が、やさしい日本語を学んだ後、外国人住民の聞き取りに臨みました。在留年数が浅いゲストには、翻訳機を用いましたが、使用しないグループは専門用語の説明に苦労していたようです。それでも、ジェスチャー、絵を描くなど工夫することで、理解し合えたようでした。



「多文化共生社会の実現に向けて～つながり・支え合い・寄り添う～」

ゲスト：アミ パッチャルワティさん(インドネシア)、パタク サムラトさん(ネパール) 2022/9/13 青山公民館

ゲスト：アミ パッチャルワティさん(インドネシア)、プービエン ブンナリーさん(ラオス) 2022/10/27 緑が丘公民館

協会事務局から三木市における外国人住民との活動事例や共生の動向について説明しました。ゲストによる母国紹介の後、参加者がゲストを囲み、座談会を行いました。時折聞こえる笑い声にフランクな交流ができているのだと実感しました。



青山公民館



緑が丘公民館

「私の国『シリア』について」

2022/10/13 三樹小学校

講師：ナーイフ兼寛さん(シリア出身)

幼いころに日本製品の精巧さに感動したことがきっかけで来日の夢を持ち、2008年日本で仕事に就いたことや、一生懸命日本語や漢字を勉強し、2018年に帰化したことなどを話しました。「マルハバ(こんにちは)」児童は覚えたてのアラビア語のあいさつや数を大きな声で唱和しました。



日本文化を体験しましょう！

講師：椿原 宗恵 さん、土井 陽子 さん、藤田 典子 さん、高谷 恭子 さん

2022/8/7 旧小河家別邸

総勢12名の浴衣姿の外国にルーツがある人々が、琴の音色に耳を傾け、自身も演奏を楽しみました。また、茶席では自分で点てた抹茶の味に満足気でした。

アメリカ、フィリピン、ブラジル、ベトナム出身の人々のコミュニケーション言語は、*やさしい日本語です。伝統的な日本文化に触れ、外国人参加者同士の交流の良い機会となりました。暑い中、ご協力いただいたボランティアの皆さん、ありがとうございました。

*やさしい日本語・・・「易しい、優しい」の意味合いを持つ、外国人にわかりやすい日本語



参加者の感想

レ・ティ・ラン・フォン さん (ベトナム出身)

初めて着る浴衣で、着方がわからなかったけど、先生がやってくれました。なんか嬉しかったし、ちょっとだけでも日本人みたいに感じました。お茶の先生からお茶の作り方を教えてもらいました。先生は何年間もお茶のことを勉強しているすごい人だと思いました。次は琴の先生たちが弾いてくれました。私は上手じゃなかったけど、先生が一所懸命に教えてくれたから、弾けましたよ。琴が好きになりました。

お友達もいっぱいできて、日本語で話しながら一緒に楽しみました。お茶と琴の先生に感謝しています。まだまだ、いっぱい勉強したいです。皆さんもチャンスがあれば、一緒に参加しましょう。

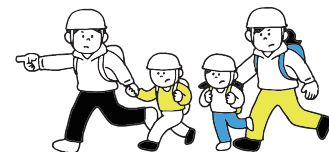
総合防災訓練 & 防災フェスティバル

2022/9/25 三木山総合運動公園

3年ぶりに従来通り開催された「総合防災訓練」及び「防災フェスティバル」に8名の外国にルーツがある人々が参加しました。総合防災訓練では、毛布を担架代わりにしてけが人を運んだり、車椅子を使って障害のある方を運んだりしました。外国人参加者は、各地区に分かれて地元住民とコミュニケーションを取りながら協力し、防災技術について学びました。



また、防災フェスティバルでは、地震体験コーナーや煙体験コーナー等に参加し、災害の恐ろしさを体験し、身を守る方法について学ぶことができました。



食料品の寄附 コープこうべより

米や多くの種類の食料品を頂戴し、必要とされる外国にルーツがある方々へ配給しました。宗教などのバックグラウンドに気を付けながら分配することも、多文化共生を推進する協会にとっては学びとなります。僅かな量でも笑顔で受け取る外国人住民との交流に喜びを感じています。



まえむきに暮らす

あめりかしゅっしん
アメリカ出身

ぶらいあん じーん さん
ブライアン ジーン さん



どれくらい日本に住んでいますか。

約8ヶ月です

三木市は好きですか？

好きなところは、どこ、なにですか。

三木市が好きです。私は田舎での生活を
楽しんでます。みんな私に親切です。

母国と日本で同じこと、違うことは何ですか。

日本は自分の国より、ずっと清潔で安全です。
ひとびとは通常より親切です。、ここでの交通シ
テムは素晴らしいです。

嬉しかったことを教えてください。

日本に住んでいるだけでも幸せになれます。

困ったことを教えてください。

嫌な思いをしたことでもよいです。

私はまだ日本語を流暢に話すことができず、
あまりお金を稼いでいません。しかし、私は
毎日日本語を勉強し、お金を節約しようと
しています。

その時、どうしましたか。

普段は毎日日本語を勉強し、職場の同僚
と話す練習をするようにしています。

将来、どうしますか、何をしたいですか。

日本に住み続け、日本で家を買いたいです。

日本人に伝えたいこと、

言いたいことは何ですか。

常にあなたの夢を追いかけてください！

海外レポート

「日本人の目に映るバルセロナ」

田代 咲希子 さん

バルセロナと聞いて、皆さんは何を想像されますか？サッカーチーム、ガウディ建築群、美味しいスペイン料理…。実は移民の多様性も、この街の特徴の一つなのです。世界中の様々な場所からやってきた人たちがこの街に住んでいます。

バルセロナ市で一番数が多いのは、スペインのお隣イタリアからの移民です。次にパキスタン人、中国人が続きます。植民地という歴史的な繋がりにより中南米やフィリピン、地理的な近さから北アフリカからの移民も多いです。バルセロナ市はスペインの中でも進歩的で、難民を始めとした移民に門戸を開いており、移民の割合は 20% を超えます（国全体では約 12%）。

2010年に北アフリカや中東で民主化運動が起こり、また2019年には南米ベネズエラで経済危機がありました。バルセロナにはそのような政治的または経済的影響を受け、母国を離れざるを得ない人たちも多く住んでいます。歴史の変動は常に人の移動を引き起こしています。

メイン通りから少し離れてみると、人々の多様性とともにある傾向があることに気づかされます。パキスタン人は青果店や携帯ショップ、中国人はアジアスーパーや雑貨店、バングラデシュ人は工具店を営んでいることが多いです。これは同国の出身者によるコミュニティが関連している場合があり、コミュニティは移民の生活と深く関わっていることは日本でも同じと言えるでしょう。



COOL MIKI

日本語 de 発表 入場無料

日時：2月5日(日)
13:30~15:30
場所：市民活動センター
第1部：日本語 de スピーチ
第2部：日本語 de ソング



外国にルーツのある方々による日本語でのスピーチと歌のステージをぜひご覧ください!!

ことばの教室 ジョイントミーティング

Let's be good friends in the joint meeting through presentations!!!

日時：3月12日(日)10:00~12:30(予定)
場所：教育センター4階 大研修室

中国語初級・韓国語初中級・英会話入門・英会話初級
英会話初中級・英会話中級・英会話実用・日本語

以上のクラスのみなさんが発表します。

共に学習した仲間も他のクラスの学習者もこの交流を通して楽しい時間を共有しましょう。プレゼントがあたるお楽しみもあります。ぜひ、ご参加ください。



外国につながる子どものためのバスツアー「いちご狩り+牧場」へ行きましょう!

日時：3月28日(火) 出発 9:30 解散 14:00
行先：THE RED MOUNTAIN BERRY FARM MIKI NAKAZATO & 西山牧場
集まる場所：文化会館駐車場*9:00集合
持ってくるもの：ノートや鉛筆、飲み物、はんかち
参加費：無料(0円です) *昼ごはんはありません
対象：小中学生(※外国につながる子ども)
共催：三木みどりロータリークラブ



あまくておいしいいちごを食べましょう。
牧場でおいしいごはんを食べましょう。
いろいろな国の子どもとあそびましょう。
そして、お友だちになりましょう

第3回 国際理解講座

多様性と受容性 受講料無料
~人種、宗教、文化対立の国、アメリカから見た日本社会~
講師：井上善誉さん
日時：2月25日(土)13:30~15:00
場所：中央公民館 3階 講座室(定員:30名)



日本語ボランティア養成講座

講師：飯島有美子さん
日時：1月21日(土)14:00~15:30 受講料無料
場所：教育センター4階 大研修室
日本語ボランティアにご興味のある方も是非ご参加ください。
(定員:50名)

~多文化共生に向けた~ 出前講座のご案内

お問合せ

三木市国際交流協会 事務局
(三木市上の丸町10-30)
TEL&FAX: 0794-89-2318
メール: kokusai@city.miki.hyogo.jp

出前講座メニュー

- ① 三木市の国際交流について
- ② 外国人と話してみよう
- ③ 外国人による母国紹介
- ④ 世界の料理教室

🔍 三木市国際交流協会 🔍 検索

ボランティア募集

- 日本語教室で在住外国人の学習支援
- イベントなどでスタッフとして活動
- ホストファミリーとして外国人の受け入れ

事務局まで
お問い合わせください



水曜日 12:35 ~
エフエムみっきい放送中



COOL MIKI「日本語 de 発表」「子ども英語暗唱大会」など

編集あとがき



今年を振り返ると、知床沖の遊覧船沈没事故や、元首相の襲撃事件など、暗いニュースが多かったように思います。海外に目を向けると、2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、すでに9か月が経過し女性や子どもを含む一般市民にも多くの犠牲者が出ています。日々のニュースを見るにつけ、心が痛みます。そこで、協会では少しでもウクライナ支援に貢献したい思いから、募金活動を行いました。その結果、7万4千円の寄付金をUNHCR(国連高等難民弁務官)を通じてウクライナの難民支援に寄付をいたしました。みなさまの温かい志に、この場を借りて御礼申し上げます。一日も早く、事態が終息し平和が訪れることを願わずにはおれません。



編集・発行

三木市国際交流協会

Miki International Association
〒673-0492 三木市上の丸町10-30(三木市役所4階)

TEL&FAX (0794)89-2318

E-mail kokusai@city.miki.hyogo.jp

HP&Facebook 🔍 三木市国際交流協会 🔍 検索